

乳児と行事～「一人ひとりを大切にする保育」の実践として

第11回の運協で乳児の保育の環境づくり、室内遊びのコーナーについてお話ししました。
今回は「一人ひとりを大切にする保育」の実践として乳児と行事についてお話ししたいと思います。
11回と重複しますが乳児の保育で大切にしている柱は以下のようになります。

- ① 一人一人の子どもを尊重し、大切にすること。
人格の尊重 主体性を育てる 気持ちに寄り添う 思いを受けとめる 自分でやりたい気持ちを育てる 日々の積み重ね 個人差に配慮する 一人一人に愛情を注ぐ 自尊感情を育てる
- ② 大人との信頼関係を築き、安心して過ごす。
人への信頼感が育つ 情緒の安定 まわりへの関心が向く 友達への関心が芽生える
- ③ 生活リズムを整え、安定して過ごす。
よく遊び、よく食べ、よく眠る 心身の健康 情緒の安定
- ④ 遊びを通して心身の発達を促す。
遊び(自由な行為)を通して子どもは育つ 発達の要求に合った環境 最大限に遊びの時間を保障する
- ⑤ 清潔で安全、安らぎや温かみのある環境で過ごす。
感染症予防 保育室、玩具の消毒 安全点検 家庭的環境
- ⑥ 家庭との連携を密にする。
24時間の連続性 情報共有 補い合う 共に育てる

乳児クラスは生活に占める部分の時間が多くなりますが、まだまだ健康面、情緒面で外からの刺激を大きく感じてしまう頃なので、毎日同じリズムで生活することで安定して過ごすことが出来ると考えています。よく遊び、よく食べ、よく眠るこの3つが上手く回っていくことが心身共に健康で過ごすなよりの基本であると考えています。

また同様に大切な“人への信頼感”の基礎を育む時代。まずはおとうさん、おかあさんとの信頼関係がありそこに少し広げて保育園の大人との関係を作っていきます。子ども達が安心して信頼を置いていけるように担当制をとり、きまった大人が生活面の主な働きかけをすることで愛着関係を強固にしていきます。担当とじっくり関係を作り、保育園での安心基地ができると自然に外の世界へ足を延ばしていくようになるのです。

その昔30年前頃は、小金井でも乳児から運動会（その頃はこの名称でした）に参加していました。0歳児クラスでは、親御さんが少し離れたところから呼んでハイハイや、あんよでとことこと歩いて、たくさんの人たちの中を通る等をしていました。大人はその可愛さに満足なのですが、子ども達は歓声の大きさやいつもと違う場所と雰囲気には驚き泣いてしまう子どもが大半でした。そんな姿を見るにつれ、乳児の保育で大切にすることは何かということを変えて検討して行きました。乳児の子どもにとって、広い場所、たくさんの人、大きい音、声はどんなことであろうか。

いつもと違うリズムの生活は心身にどんな影響を及ぼすのか。

清潔、感染予防という面から大勢の人の中へ連れて行くことはどうなのか。

取り組みの目標を意識しないまま参加することはどうなのであろうか。

1歳児、2歳児も同様な姿があり、この時期に行事へ参加することはどうなのかということも合わせて職員の中で検討していくことは自然のことでした。

乳児は一人ひとりの個人差も大きくその個人差に配慮すること、生活リズムを整え心身ともに健康に過ごすこと、そして情緒の安定を大切にすること。これら大切に考えている保育を検討する中で、少しずつ乳児の行事参加は無くなっていきました。

もちろん泣いていても可愛いし、成長を感じられる場になるかもしれません。それは大きい行事という場でなくて日々の生活の中で見てもらいたい、もっと大きくなって広い環境の中でも自分を発揮できるようになる幼児クラスになってから大きい行事の中での姿をみてもらいたいと考えています。幼児からの参加でも子ども達は十分に楽しめると考えています。

乳児の行事参加についてという位置づけではありませんが、

30年前頃は、お誕生会があり、月に1回「その月の誕生日の人をお祝いする日」がありホールにみんなが集まっていました。誕生者を紹介し、担当の職員が様々な催し物をしていました。

多くの人がある月の誕生者を知る機会になり、催しも楽しんでいましたが、誕生日は個人の特別な日であることから全体で同じ日にお祝いするのはどうであろうかと思直しが始まりました。

催しを楽しむ機会でもあるしその機会が減るのではないかという意見もありましたが、

現在、一人ひとりの大切な日としてそのお子さんの誕生日に園によって多少の違いはありますが、クラスの担任がミニシアターやわらべうたなどを披露し担任からの手作りのメッセージカードや友だちからお手紙や折り紙等のプレゼントをもらってお祝いしてもらっています。また幼児クラスでは保護者の方からメッセージを書いてもらい、大切に思われて誕生した日の意味を伝える機会にもなっています。

カレンダーには、誕生日のところにシンボルマークを貼ってあるのでそれを見ては、

クラスの友だちも、何日も前から「あと〇〇日寝たらAちゃんの誕生日。〇歳になるんだよね～」とよく知っていて「Aちゃんの次はBちゃんが〇歳になるんだよ」と教えてくれる姿も見せてくれ、一人ひとりの大切な日であることを分かっているようです。

行事は、友だちと同じ目標を持って準備したり協力する中で互いをより知り、認め合ったり結びつきを強め、やり遂げた時の達成感を持ちそこで得た自信を次への力とするよい機会でもあります。一つ一つ行事について何を育てたいか、何を体験させたいか大切にすべきことはなんなのかを話し合い取り組んでいます。取り組みの中で今の子ども達にとって来年度の行事をどのように取り組んでいくのか、今年度の反省をふまえて検討を続けています。乳児クラスの保護者の方には、「大きくなったら、こんな行事に取り組むのだ・・・。」と成長を楽しみに考えていただけるよう、行事の取り組みを伝えていきたいと考えています。